



日本アマチュア無線連盟



第38回 JARL 茨城県支部賀詞交歓会



JG1KTC 高尾 JARL 会長



JA1IOA 矢口県支部長

土浦アマチュア無線クラブニュース 平成31年 2月号

お し ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

- ★ 2月23日(土) 役員会を四中地区公民館にて 19:00より開催します
役員各位集合をお願いします

- ★ 第38回 JARL 茨城県支部賀詞交歓会がありました

平成31年1月12日(土)～13日(日) “潮来ホテル”にて開催され当クラブからは、JA1IOA,JA1PBV,JF1KZD,JF1MFE,JJ1VLM,JN1VVE,JQ1QMUの7名の皆さんが参加されました。今年もJARL会長が出席され総勢48名の参加のもと、大いに盛り上がったようです。参加各局ご苦労様でした。

- ★ 新春ボウリング大会がありました

平成31年1月27日(日)「パニックボウルつくば」にて新春ボウリング大会が開催され見学者を含め総勢37名の皆さんが参加しました。その結果、優勝者はJH1PRV 樋戸さんでした。二位 JK1OJG 局、三位 JI1WLL 局となりました。(詳細次号)

- ▽ 2月11日 第36回関東 UHF コンテスト(コンテスト時間：9時～15時)

使用周波数：430 / 1200 / 2400 / 5600MHz 帯、10GHz 帯
クラブ行事ではありませんが、是非参加してみましよう！

- ★ これからの平成30年度事業計画

- ・3月10日(日) 平成30年度土浦アマチュア無線クラブ総会開催
 - ・開催場所： 四中地区公民館予定 時間 13:00～
 - ・終了後、土浦・牛久レピータ管理団体の総会を開催いたします

茨城県支部主催モバイル FOX ハンティング案内

- ・日時 2019年3月3日(日) 受付 09:00～09:30 競技説明 9:30～
- ・集合場所 古河市生涯学習センター (とねミドリ館) 駐車場
- ・競技内容
 - ◎車による FOX ハンティング ◎FOX を探査しゴールに戻る
 - ◎競技はゴールまでの走行距離による探査 (同距離は同順位)
 - ◎1台2名以上乗車の4輪自動車のみ (当日1名になった場合入賞出来ない)
 - ◎競技部門 ①144 MHz 帯 FM 部門 ② 430MHz 帯 FM 部門
 - ◎FOX は各部門二か所地点から送信する (送信周波数当日発表)
 - ◎競技時間 3時間 (FOX 送信 10:00～12:00)
 - ◎参加費 JARL 会員が乗車で 2,000 円/車1台 (2名分弁当付き)
 - ◎参加申込 申込代表者の住所・氏名・性別・呼出符号・連絡先 TEL 同乗者氏名・呼出符号を記入のうえ 2月20日までにメール又は葉書による
 - ・宛先 〒306-0205 古河市関戸 1309-35 杉山 清 JI1WLB
TEL 090-4135-0197 Eメール ji1wlb@jarl.com

最近、当クラブから参加局が出ていません。出来るだけ多く参加して楽しみながら入賞めざしましょう！

第 38 回茨城県支部賀詞交歓会

JF1MFE 久松 満男

新春を迎えて茨城県支部の賀詞交歓会が 1 月 12 日（土）に水郷潮来ホテルにて開催されました。

幸い好天に恵まれまして道中の景色の良さ現地近くは又それなりに良い景色でした。土浦の各局は、現地の近くの蔵を改造して作ったこだわりのお店で昼食を食べましょうとの事で 12 時待ち合わせで出かけたようです。



当局は石岡で茨城放送杯の予選が有りまして会場の準備と進行の準備をしました。予選会が始まり暫くしてから潮来に向かいましたが予定の時間には間に合いました。

すでに古河クラブのメンバーも一緒でお勧めの地豚の料理が美味しかったです。

お店も一気に 13 名の注文では忙しかったよう

でした。中はコーヒーやお酒も飲めるカウンターが有りましてオシャレかな？目の前は霞ヶ浦の 1 部か北利根川かな？お天気が良かったので眺めはよかったです。食事も終わり時間には潮来ホテルに到着ルート 51 クラブのメンバーに迎えられてご挨拶後新春代表者会議が行われて 4 時過ぎに終わりました。その後暫く部屋でくつろぎ 5 時 45 分記念撮影後 PM6:00 より宴会に入りました。



担当クラブの会長さんの司会挨拶から始まり JA1IOA 茨城県支部長の年頭の挨拶に続いて JARL 高尾会長の挨拶 関東地方本部長島田さん 栃木県支部長安部さんのご挨拶が終わり監査指導委員長 JH1TUJ 松島さんの乾杯でやっと宴に入りました！お待ち皆さん、のどをぐいぐいと鳴らし一気に美味しい、料理も美味しい、

ルート 51 クラブのメンバーの顔が広いとゆうか？その豪華さが出たようでした。宴中過ぎに抽選会が始まり豪華な景品が、当クラブにも皆さん当たったようでユニークなのが景品提供者の JF1KZD 池田さんの野菜セットが池田さんに当りキャンセルで大笑い、しかし運の強い方は違う少しして又当たる！！JARL 会長も強い、抽選では色々な会場で結構当たる今回も豪華景品のストーブをゲット！栃木県支部長も良い賞品があたり両方の提供で再抽選となり又盛り上がり楽しい新年会でした。



そして予定通り二次会が始まり豪華な酒宴、高価な色々な美味しいお酒がずらり、JARL 会長、関東本部長、栃木支部長、各クラブの会長や好きなメンバーが集まり無礼講で夜の更けるまで楽しく遊びました。

第38回茨城県支部賀詞交歓会写真集



予定通りの二次会



その他写真説明省略

ドローン FPV 用 5.8GHz 画像送信機が免許されたのでご紹介します

JK1OJG 安島 美朝

ドローンは搭載カメラの画像がリアルタイムでコントローラの画面に表示されます。日本では雑居バンドと言われる 2.4GHz 帯を使うため、一時的な伝送不良等でヒヤリとする経験をしています。5.8GHz 帯は安定した遅延のない伝送ができると言われてますが、自身で試したいと思い Boscom 社 TS832 送信機を購入し免許を受けました。

送信機の系統図

5.8GHz BAND FM-TV Transmitter (RTC43705) → ATT → HMC400M 5.8GHz BAND Power Amplifier → LPF → Whip ANT

電源: DC12V → SW電源回路 → 3.3V, 5V

送信機名: TS-832改造 主要部材

- 方式: リアクタンズ集積方式(非内蔵調)
- 最高送信周波数: 4.6MHz(NTSC信号)
- 占有周波数帯域: FBW-17MHz以下
- 放射キャリア周波数: 5600MHz帯
- 電波形式: F3W
- 音声サブキャリア周波数: 6.5MHz(F3W)

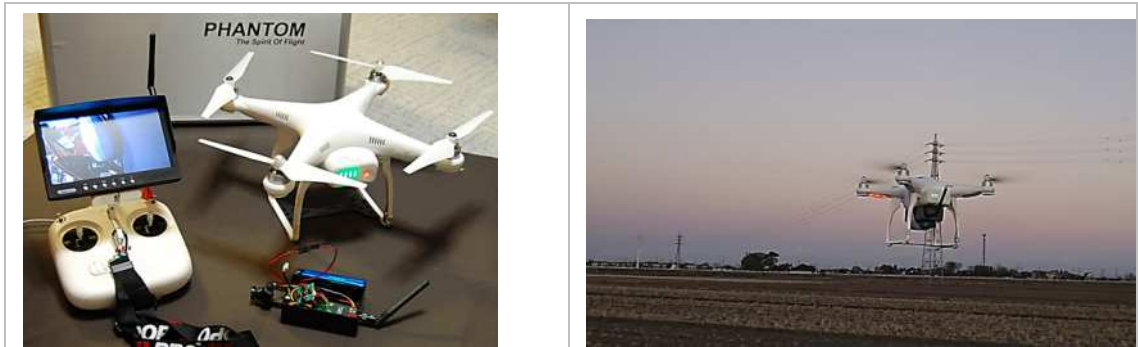
5.8G
40CH
TS832

保証は JARD に依頼 (昨年のハムフェアでドローン (FPV) 開局・変更コーナーを設けており、その際に丁寧な質疑応答をして頂いたという経緯あり)

TS832 は海外仕様のため、日本国内で使用できる周波数の範囲に改造する必要があります。改造と言っても範囲外にチャンネルを変更できないようにスイッチ部にカバーを施すだけです。

11/18 に保証申請→11/22 に保証完了、スムーズで迅速な対応でした。同日 11/22 に「電波利用電子申請・届出システム Lite」で変更申請を行い、12/20 の審査終了まで約 1 ヶ月を要しました。私のミスで補正に対する申請を新規申請で提出してしまい、この取り下げなどに余計な時間を使ってしまったことが今回の反省点です。

12 月末には免許状も届き「4SA 5750 MHz 1W」の追加を確認しました。



最近はドローン FPV (First Person View) をするためにアマチュア無線を開局する方が増えているようです。

(* FPV : 8 ページ参照)

Philippines 移動運用 (IOTA サービス)

JA1PBV 伊藤 寧夫

平成 30 年 12 月、現地の免許の更新に出向きました。そして、免許試験で得た現地の免許の最初の運用ともなりました。

従来は、日本の免許を基にした DU1/JA1PBV で運用しましたが、現地で試験を受け A クラス (日本の一アマ) に合格し、A クラスに発行される 4E1CVB のコールサインで免許が発行されました。以前は DU のプリフィックスでしたが、今ではこの体系で発行されているようです。



CR # 951367 Amount Pp. 345.00 Date 6/27/2017 By	Republic of the Philippines Department of Transportation and Communication NATIONAL TELECOMMUNICATIONS COMMISSION Quezon City, Metro Manila	
OPERATOR CERTIFICATE/STATION LICENSE FOR AMATEUR NON-TRANSFERABLE		
LICENSEE: SADAO ITO CALL-SIGN: 4E1CVB CLASS: "A" AUTHORIZED EQUIPMENT: ICOM IC-7000 SN: 0102097 ICOM IC-7000 SN: 01001872	ADDRESS: No. 83 San Juan 1, Noveleta, Cavite STATION LOCATION: No. 83 San Juan 1, Noveleta, Cavite SIGNATURE OF LICENSEE 	
PERIOD OF VALIDITY June 27, 2017 to January 1, 2019 ISSUED ON June 27, 2017		
4E1CVB 免許		
AUTHORIZED FREQ/BAND: 1.8-1.9/1.9-2.0/3.5-3.7/3.7-7.5- 3.87-7.3/10.1/11.1/14.1/14.1-14.35/18.068-18.168/21- 21.1/21.1-21.4/24.89/24.99/28.2/30.8/30.8-32.7/30.8-33.0 430-440 144-144.1/144.1-146 MHz		
By Authority of the Commissioner: ENGR. JOSE L. LEYNES Regional Director - R-IV		NTC No. 64039 - DD-AT-R2017 (NEW)
SUBJECT FOR INSPECTION ON A LATER DATE		

PARA とされる日本の JARL と同じような組織の事務所に出向き、再免許の手続きを行い、さらにダメもとでバニティ制度があるかと聞いてみたところ、費用は掛かるが空いていれば希望のコールサインの免許が下りるとのこと。さっそく申請しました。

バニティコールが下りるまでには時間が

必要と言うことで移動運用を計画しました。過去二度ほど行こうとしていた島があったのですが、海が荒れているということで沿岸警備隊の許可が出ませんでした。三度目の正直との思いで、空路を使いさらにはバスと VAN (ハイエース) を乗り継いで向かいました。船は出そうだというので小さなボートをチャーター (貸切) しました。

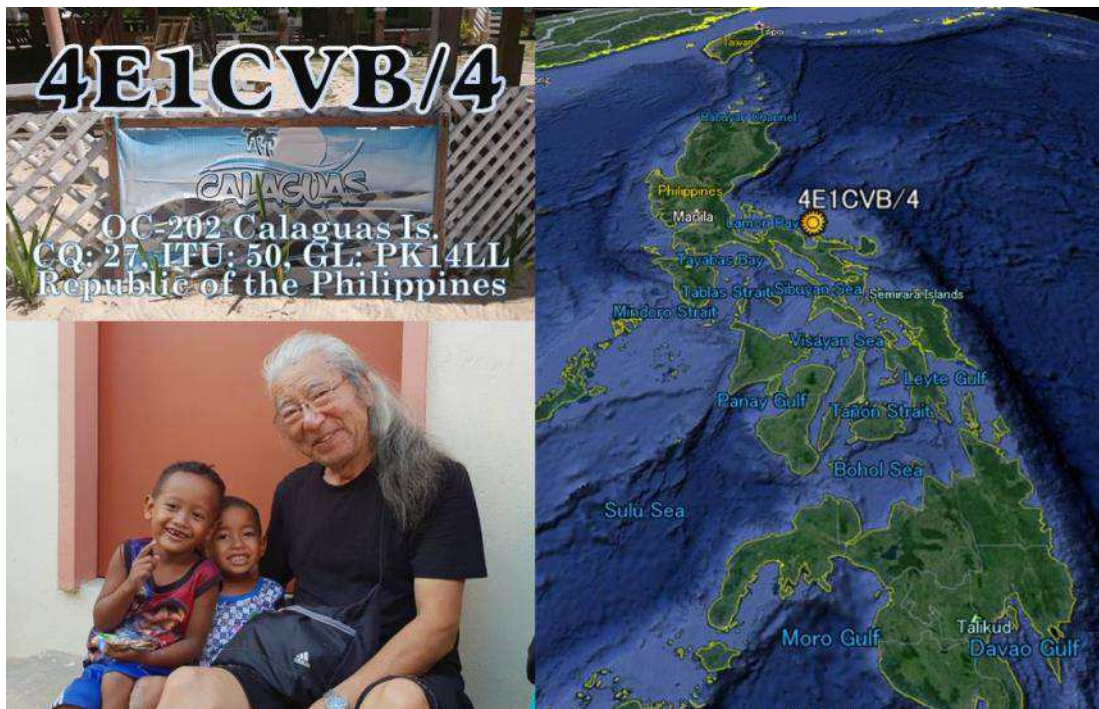


ある日の食事

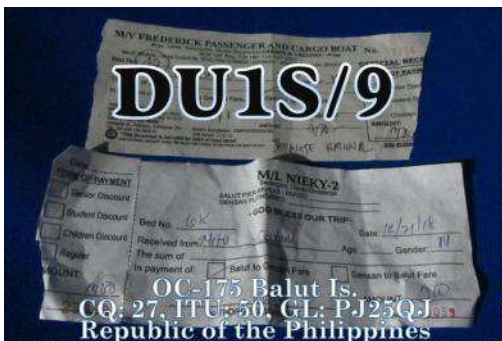


写真のような小屋を宿としロングワイヤで運用しましたが、電気は夕方の五時から翌朝の五時までしかなく、しかも無線機の電源は動きませんでした。仕方なく島中を歩き、発々を借りましたが今度は燃料がなく次の船で 20ℓ 運んでもらいました。とてもやかましい発々でしたが、住民や他の客からの苦情は一切なしでした。

発行する QSL カードは自前のデザインで次のようにしました。



マニラに戻り、PARA を再訪しバニティの免許を引き取りました。そして、初運用。行きたいところは危険地帯でしたので知り合いの Ham に助けを求めましたが、現地には滞在していないとのことで断念しました。そして、以前運用したことのある島に



出掛けました。マニラからセブを経由してジェネラルサントスまで空路。車で港まで移動。貨客兼用の船で島まで移動、6 時間ほどの船旅です。夜に出て朝に着きます。以前はアンテナを立てるのに十分な空間がありましたが、今回は樹木が成長し止む無く街頭のポールを拝借しました。(誰にもとがめられず、寛大です



ね) 警察と役所に滞在する旨、届けました。QSL カードはやはり自前のデザインです。コールの下の紙は乗船照明用のチケットです。IOTA 運用の証明用に入れてます。何れのところでもコンディションに恵まれず数少ない QSO となってしまうました。現地の事情や免許関係については、どこかで紹介したいと思います。

ドローンの FPV (First Person View) について

FRP とは First Person View (ファースト・パーソン・ビュー) の略で一人称視点という意味だそうです。要は、ドローンから見た映像で自分が飛んでいる様な気になるーそんな事になるかと思えます。従来のラジコン等はコントロールからの一方通行の電波で済みましたがドローンは、ドローンからの映像信号を送る為に送信機を付ける必要があります。

この送信には、免許必要な 5.8MHz 帯と免許不要の 2.4GHz の Wi-Fi 等が使用されています。但し免許不要は「技適マーク」のあるドローンが必要。Wi-Fi を使用の場合、映像をデジタル変換して送るのでドローンの実際映像と映し出される映像にはタイムロスが発生する。通常は問題ないのだがドローン同士の競技にはタイムロスは致命傷となるのでデジタル変換しない 5.8MHz 帯が使用される。その外遠距離などに良さもある。この為、従免と局免が必要となるわけです。業務用に使用しなければ、4アマで OK なので最近試験を受ける方が増えたらしい。(この場合業務用には絶対使用しない事。業務用には「第三級陸上特殊無線技士」以上が必要)

* 詳細 総務省電波利用ホームページ参照 -----事務局 JH1WGP 調査より

~~~~~

### ◆ D-STAR と WIRES-X が進化している

JH1WGP 大木 武

VoIP 無線と呼ばれるアマチュア無線をインターネット網に接続して音声通話を楽しむ方法として今や主流となっている D-STAR と WIRES-X があります。

#### D-STAR

無線区間とインターネット間のとり継ぎを行うノード局としてのレピータが各地に設置されている。FM レピータと同様に一つだけのレピータを使った「山かけ」の通信と「ゲートウェイ」により遠隔地と交信ができる。(リグは主に ICOM)

#### WIRES-X

八重洲無線が開発した通信システムでノード局は個人局やクラブ局で手軽に開設できる。公開ノードであれば誰でも利用できる事になっていますが突然切られてしまう事がある。当局も現在は、公開個人局ノードを使用しています。

D-STAR と WIRES-X の互換性はない

当局が ID-31 を持参し温泉地へ行った時レピータは検索出来たが電波が届かない事があった。最近 ID-31 PLUS や ID-51 PLUS なら PC やスマホ (Android) に接続しゲートウェイ通信が出来るようになりました。さすが JA1PBV です昨年 DU からこの方式で当局と QSO しました。彼は、また近々海外運用に出発しますので各局もトライしてみてください。

八重洲無線も負けていない様です。ノード局用インタフェース HRI-200 がいらなくて PC と無線機を繋ぐ専用ケーブルでノード局になれる方式が 1 月にリリースされたようです。最近の進化に目が離せません!

~~~~~

皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成 30 年度 第 11 号	通巻 519 号	JARL 登録番号 14-1-0018
発行日: 平成 31 年 2 月 1 日	発行者: 土浦アマチュア無線クラブ事務局	
オンエア ミーティング: 毎週月曜日 PM9:00~ 土浦レピータ (439.70MHz)		